大雪山

1　概況

上空からの観測の結果、火山活動に異常は認められませんでした。

北西側上空から撮影した旭岳地獄谷爆裂火口

2　上空からの観測結果

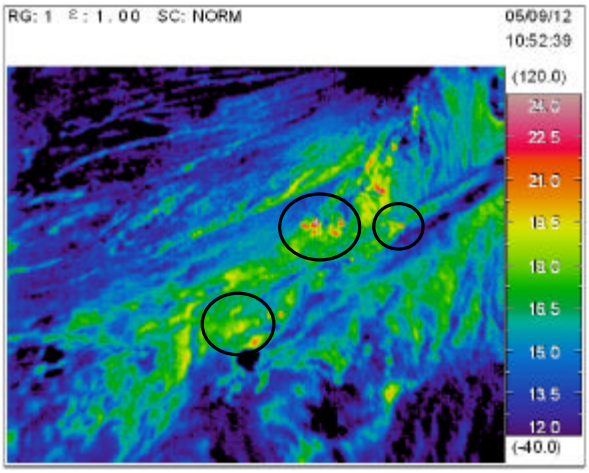
9月12日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。

◎旭岳地獄谷爆裂火口

爆裂火口の火口底に点在する数カ所の噴気孔から高さ30～50m程度の白色の噴気が認められました。噴気活動はこれまで知られている状況と比べて大きな変化はありませんでした。

赤外熱映像装置*による観測では、各噴気孔に対応する高温域が認められました。図中○で囲んだ部分は噴気孔に対応する高温域を示しています。これ以外の温度の高い部分は日射の影響によるものと考えられます。

南西側上空から撮影した地獄谷爆裂火口



赤外熱映像装置による表面温度分布

◎御鉢平カルデラ

目視による観測では噴気は認められませんでした。カルデラ内の状況はこれまでと比べて大きな変化はありませんでした。

＊赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、熱源から離れるほど測定される温度は実際の温度よりも低い値になってしまいます。また、噴煙や霧で測定対象が見えにくい場合には温度測定ができないこともあります。